

F A X 送 付 状



送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 4枚
送信日 2017年 4月 24日

サルたちのベビーラッシュ！！

桜の季節も過ぎ、すっかり暖かくなってまいりました。日本モンキーセンターでは、春に出産シーズンを迎えるサルたちを中心に、今年もベビーラッシュの季節を迎えています。

最近うまれた赤ちゃん一覧 (4月24日現在)

種名	赤ちゃんの頭数	誕生日	飼育場所
ワオキツネザル	7頭	2/26※双子、3/3、 3/7、3/10、3/13、3/16	Wao ランド
ヤクニホンザル	2頭	3/12、4/20	モンキーバレイ
ニホンザル	1頭	3/23	ニホンザルの丘 (非公開施設)
ボンネットモンキー	1頭	3/22	アジア館
ジェフロイクモザル	1頭	3/4	バックヤード (非公開施設)
ワタボウシパンシェ	2頭	12/9※双子	南米館
クロミミマーモセット	2頭	4/23※双子	南米館

※このうち、ワオキツネザル、ヤクニホンザル、ワタボウシパンシェ、クロミミマーモセットは撮影可能です。ワオキツネザルは複数の群れを交代で出しているため、撮影可能な日をお問い合わせください。

※ボンネットモンキーは檻が写り込むため撮影できませんが、飼育員による代理撮影や画像提供は可能です。

※ニホンザルとジェフロイクモザルは非公開施設で飼育中のためご覧いただけませんが、ジェフロイクモザルの赤ちゃんは、将来的にはモンキースクランブルにデビューする予定です。

ヒトを含む多くの霊長類は1年中出産可能ですが、ニホンザルやワオキツネザルなど季節がある地域にくらす霊長類は、春から夏に出産シーズンを迎えます。そのためモンキーセンターでも、1年中出産はありますが、特に春から夏がベビーラッシュとなるのです。

母親が肩身離さず赤ちゃんを抱いて子育てする種、父親も子育てに参加する種、群れのメスたちも赤ちゃんを抱く種など、子育ての方法もそれぞれです。モンキーセンターでは動物たちが本来の子育ての行動を発現できるように、また次の世代が子育てを学ぶ機会をもてるように、基本的には人工保育はおこなわず、飼育員、獣医師、研究者などが協力してサポートしています。

ゴールデンウィークに向けた話題として、ぜひご紹介いただければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp
問い合わせ先 : 学術部 赤見、江藤、新宅、綿貫、早川、大淵、高野

資料① 赤ちゃんたちの写真（一部）



ワオキツネザルの母子

写真は2/26 うまれの双子の赤ちゃんです。母親から少し離れて冒険したり、赤ちゃんどうしで遊ぶ姿がみられるようになりました。



ヤクニホンザルの母子

オトナよりも色が濃いのがヤクニホンザルの赤ちゃんの特徴です。去年の春にうまれたコドモもまだ小さく、成長を比べてみるができます。



ボンネットモンキーの母子

写真は3/22にうまれた赤ちゃんです。母親がしっかりと抱いている姿が見られます。



ワタボウシパンシェの赤ちゃん

オトナでも体重500gほどの小さなサルなので、赤ちゃんはもっと小さいです。枝の間を飛び回りながら遊ぶようになりました。



クロミミマーモセットの母子

昨日うまれたばかりの双子の赤ちゃんです。今は母親にしっかりとつかまっていますが、少しすると父親が抱くようになります。

資料②：赤ちゃんに関するイベント情報

■こどもの日ガイドリレー

「こどもの日」はこどもが主役！今年うまれの赤ちゃんからこどもまで、いろいろな動物たちの成長の様子をご紹介します！飼育員だけが知る裏側もお話します！

日程：5/5(金・祝)、5/6(土)、5/7(日)

午前の部：11:00～11:45

エコドーム→モンキーバレイ→ヒヒの城

午後の部：14:45～15:30

南米館→Wao ランド→アフリカセンター

■母の日ガイドリレー

母の日にちなんだ動物たちをリレー方式で紹介します！母は強し！種によってさまざまな母の愛の形をみてみましょう。

日程：5/14(日)

午前の部：11:00～11:45

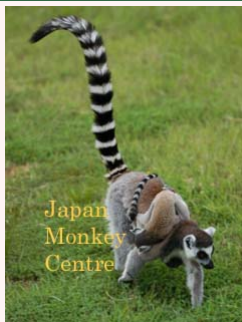
ヒヒの城→KIDSZOO→ギボンハウス

午後の部：14:45～15:30

Wao ランド→アフリカセンター

資料③：それぞれの種の紹介

ワオキツネザル



英名 Ring-tailed Lemur

学名 *Lemur catta*

CITES I

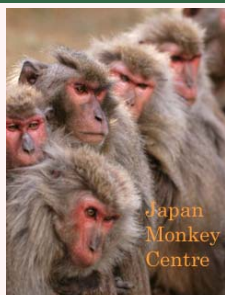
IUCN EN

分布 マダガスカル島南部

会える場所 [Wao ランド](#)

- 尾は白と黒の輪が交互に連なっている。名前の「ワオ」は「輪尾」から。
- 種小名の「catta」ネコの意で、ネコのような鳴き声から付けられた。
- 代謝が低く、気温が低いときには日光浴をして体を温める。
- メス優位の複雄複雌の群れをつくる。オスが群れを移籍する。
- 前腕の内側に分泌腺がある。これで匂いづけをする他、長い尾に匂いをつけ、まっすぐ立てて振ることで自らの存在をアピールする。
- オス間、メス間それぞれに順位があり、順位は匂いによる闘争やけんかによって変動する。
- 前肢にくらべて後肢が発達しており、跳躍を得意とする。

ヤクニホンザル



英名	Japanese Yaku-Macaque
学名	<i>Macaca fuscata yakui</i>
CITES	II
IUCN	LC
分布	屋久島
会える場所	モンキーバレイ

- 世界遺産の島、屋久島に生息するニホンザルの亜種。
- 本土のニホンザルにくらべると、やや小型で体毛が長く、荒い。

ボンネットモンキー

英名	Bonnet Macaque	IUCN	LC
学名	<i>Macaca radiata</i>	分布	インド南部
CITES	II	会える場所	アジア館

- 頭頂部の毛が左右に分かれ、ボンネットという婦人用の帽子をかぶったように見えるので、この名がついた。

ワタボウシパンシェ

英名	Cotton-top Tamarin	IUCN	CR
学名	<i>Saguinus oedipus</i>	分布	コロンビア
CITES	I	会える場所	南米館・ホール

- 頭頂部に白くて長い冠毛があるところから名前がついた。
- 顔は黒く、背は茶色で、腹や手足は白い。尾は黒く、根元にかけて赤くなる。
- 顔には毛がない。
- 果実や種子、樹液、昆虫などを食べる。
- 複雄複雌の7頭程度の群れをつくる。
- 比較的乾燥した二次林や、つる植物の多い森を好む。

クロミマーモセット



英名	Black-eared Marmoset
学名	<i>Callithrix penicillata</i>
CITES	II
IUCN	LC
分布	ブラジル南東部
会える場所	南米館・ホール

- 額に白い毛が生え、耳に黒い房毛がある。
- 背中と尾に縞がある。
- 二次林などにすむ。
- 樹液、果実、昆虫などを食べる。